

平成21年4月30日

各位

上場会社名 株式会社 キングジム
 代表者 代表取締役社長 宮本 彰
 (コード番号 7962)
 問合せ先責任者 専務取締役 吉岡 隆昭
 (TEL 03-3864-5883)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年1月28日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年6月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年6月21日～平成21年6月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	29,800	550	700	△500
今回発表予想(B)	29,300	430	430	△1,000
増減額(B-A)	△500	△120	△270	△500
増減率(%)	△1.7	△21.8	△38.6	—
(ご参考)前期実績 (平成20年6月期)	30,166	1,827	1,861	1,065

平成21年6月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年6月21日～平成21年6月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	26,000	150	300	△750
今回発表予想(B)	25,500	130	130	△1,200
増減額(B-A)	△500	△20	△170	△450
増減率(%)	△1.9	△13.3	△56.7	—
(ご参考)前期実績 (平成20年6月期)	28,284	1,718	1,785	1,088

修正の理由

(1)連結業績について

国内の景気悪化の影響で、主力製品であるファイル・テプラのオフィス需要は、3月末にかけて想定した水準を下回る結果となりました。デジタルメモ「ポメラ」の拡販に努めるも上記減少分を埋め合わせるには至らず、前回業績予想(平成21年1月28日)の売上高を500百万円下方修正いたします。

また、連結子会社(株)アスカ商会の棚卸資産の廃棄・評価損を、同社年度末に計上することとしたため、営業利益を120百万円下方修正し、430百万円といたします。

これに加え、キングジム個別で新たに発生したシンジケートローン手数料や、円高による海外子会社への貸付金などの評価替えによる為替差損の計上を見込むため、経常利益は430百万円になる見込みです。

純利益につきましては、つくば工場の閉鎖に伴う設備除却等により特別損失を430百万円引当計上することから、当期純損失を1,000百万円に修正いたします。

(2)個別業績について

売上高は、上記連結業績予想で記述しました通り、500百万円下方修正し25,500百万円になる見込みです。これに伴い営業利益も、130百万円に修正いたします。

また、シンジケートローン手数料や、円高による海外子会社への貸付金などの評価替えによる為替差損の計上などにより、経常利益は130百万円になる見込みです。

純利益につきましては、上記つくば工場の閉鎖に伴う設備除却等による特別損失引当計上の影響で、当期純損失を1,200百万円に修正いたします。

(3)配当に関して

当初予想通り、通期14円(中間配当7円、期末配当7円)を配当する予定です。

(注)この資料に記載しております業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上